

VSIPハイフォン工業団地

ベトナム・シンガポール工業団地(VSIP)は、ベトナムとシンガポール両国首相の提唱・主導により進められ、ベトナム国有企業のベカメックス社とシンガポールの政府系企業であるセムコープ社という国を代表する企業がリーダーシップを取り、1996年にベトナム南部のビンズン省で第1号の工業団地「VSIP I」が設立されました。

「VSIP I」は、立地条件や充実したインフラなどが評価されて順調に入居企業が増え、その後、外資系企業のベトナム進出数の増加に伴い、2006年には同じビンズン省に「VSIP II」、2007年に北部のバクニン省に「VSIP バクニン」、2008年にハイフォン市に「VSIP ハイフォン」、2013年には中部のクワンガイ省に「VSIP クワンガイ」を設立し、運営しています。

今回は、ベトナム北部最大の港湾都市として注目されるハイフォン市にある「VSIP ハイフォン工業団地(以下、VSIP ハイフォン)」についてご紹介します。

■概要

VSIP ハイフォンの起工式は、2010年1月にシンガポールのリー・シェンロン首相とグエン・タン・ズン首相により行われました。VSIPの出資会社はベトナム側はベカメックス社、シンガポール側はセムコープ社を中心とするコンソーシアム(三菱商事が一部出資)です。北部ではVSIP JSCを設立し、その傘下の「VSIP Hai Phong Co.Ltd」がVSIP ハイフォンの運営を行っています。

ベカメックス社は、1976年の設立以来、ベトナム国内にて工業団地、住宅地、都市交通インフラなどの開発を行っています。セムコープ社は、水や電力を供給するためのインフラ開発や、海底から石油や天然ガスを掘削するためのリグの製造などを行う大手エンジニアリング企業であり、ベトナムでは火力発電所などのプロジェクトにも参画していますが、その一方で、工業団地及び都市開発をインドネシア・中国・ベトナムで行っています。

VSIP ハイフォンの総面積は約1600ヘクタール、そのうち500ヘクタールが工業エリア、1100ヘクタールが都市開発エリアとなっています。この都市開発のエリアだけで、東



京の千代田区とほぼ同じ広さです。これまでの主な入居企業には、以下のような大手企業が含まれており、現在の入居企業数は、合計で28社、日系企業は15社となっています。

WORLD LEADER

亜鉛・アルミニウム・マグネシウムダイキャスト工法とMIM工法で世界をリードする

GLOBAL PRESENCE

16ヶ国 23製造拠点からのグローバル供給体制

TOTAL PRECISION, TOTAL QUALITY

首尾一貫した妥協しない品質第一主義

DYNACAST
SOLUTIONS MADE SOLID

MTA Vietnam 2015(ブースAK3-08)へ是非お越しください!

お問い合わせ先

Email: HGoryobara@dynacast.com.sg

Web site: www.dynacast.com.sg or www.dynacast.jp



- 京セラドキュメントソリューションズ: プリンター・複合機の製造
- ニプロファーマ: 医薬品の製造
- JFE商事: 鋼材の加工
- 富士ゼロックス: プリンター・複写機の製造
- Regina Miracle (香港): 衣料品の製造



■ 立地

VSIPハイフォンは、ハイフォン市トゥイグエン県にあり、カム川に面しています。ハイフォン市中心部からは約6kmと非常に近く、カム川に架かるピン橋で結ばれています。また、ハイフォン港までも約16kmと物流の利便性に優れた立地となっています。更にカットビ空港までは約15km、ハノイ市内

からは約100km、ノイバイ国際空港からは120kmの距離となっています。

現在、ハイフォン近郊では、3件の大規模インフラ整備プロジェクトが進められています。1つ目は、ハノイ-ハイフォン高速道路(新国道5号線)の建設、2つ目はカットビ空港の国際線化、3つ目は、大型水深港のラックフェン港の建設です。特にラックフェン港の建設は2017年末の完工が予定されており、直後に開港します。大型コンテナ船の接岸が可能となるため、物流量が大幅に増加すると予想されています。ハイフォン市ではVSIPハイフォンからラックフェン港へアクセスが出来るように、橋梁を含む道路建設を計画しています。このインフラ整備が整えば、VSIPハイフォンからラックフェン港まで約30分程度で移動が出来るようになります。

■ 特徴

前述の通り、3つの大型インフラプロジェクトの整備が進められており、空・陸・海路いずれの輸送リードタイムについても、さらなる短縮が期待できます。加えて、ディンブ・カットハイ特別経済区として、優遇税制制度(法人税15年間10%、4年間免税、9年間50%減税、及び個人所得税半減の優遇)の適用を受けることができます。これは通常工業団地へ進出した際に享受できる優遇税制としては、ベトナム最優良のものです。

一方、工業団地に隣接する1,100ヘクタールが都市開発エリアでは、駐在員・管理職向けの住宅、ワーカー向けの住宅、ホテル、オフィスビル、ショッピングセンター、学校、病院など、工業団地へ進出した企業への有益性を考えた誘致が行われています。更にVSIPハイフォンに隣接するエリアには、ハイフォン市庁舎などの行政機関が2020年を目処に移転してくるプランも進行中です。出資社であるセムコープには、シンガポール企業として都市開発のノウハウ・技術を活かした街づくりが期待されています。

電力、水などのインフラ設備は、他のVSIPグループで培ってきた技術・システムを継承し、万全な設備が整えられてお

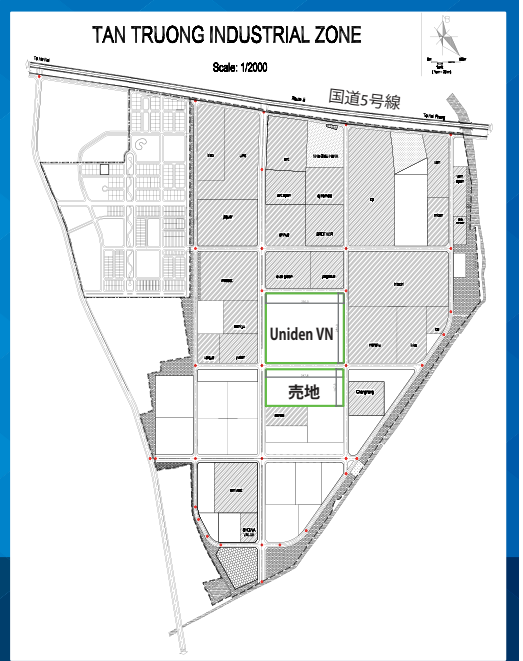
工業団地売地!

格安にてご提供します!

- ハノイとハイフォンの中間に位置
- 空路・海路とも至便!
- 国道5号線沿い!
- 工業団地メイン道路、三方が道路に面す好立地!
- 日本語・英語の話せるスタッフの募集が容易
- ビジネスライセンスの申請手続きを支援
- ハイズオン市内に日系企業社員多数居住

概要

場所: Tan Truong (タン・チュオン) 工業団地
 ハノイ市から43 km、ハイフォン市から58 km
 ※2015年開通予定のハノイ-ハイフォン高速道路により交通の利便性が大きく向上します。
 面積: 50,195㎡
 価格: 応談(市価より格安にてご提供します)
 使用期間: 2055年まで



CBRE (Vietnam) Co., Ltd

所在地 : Unit 1201, Me Linh Point Tower, 2 Ngo Duc Ke Str., Dist. 1, HCMC, VN
 担当(電話): 柴田 (+65-9857-7500)・Hieu (+84-908-047-414)
 E-Mail : masahiro.shibata@cbre.com.sg



り、投資許可証の取得、操業開始までのトータルサポートは勿論、入居企業向けに法改正時の講習会、駐在生活に関連するセミナーや販売活動を目的としたセミナーなども開催しています。また、工業団地の関係者だけでなく、近隣の住民も参加可能なチャリティー駅伝大会などのスポーツイベントも開催しており、進出企業のCSR活動のサポートも行っています。

| | |
|-----|--|
| 電力 | -22KVにて国営電力より配電 -団地内に変電所設置(最終：200MW) -第1期 54MW |
| 給排水 | 給水処理 -トータル 69,000 m ³ /日 -第1期 5,000 m ³ /日 排水処理 -トータル 39,000 m ³ /日 -第1期 3,000 m ³ /日 |

■感想

現在、ベトナムの港湾貨物の約3割を占めるハイフォン市は、ベトナムの経済成長とコスト競争力を背景に、物流・製造拠点とし

て急速な工業化が進んでいます。2017年末にラックフェン港が完工することによって、現在のハイフォン港と併せて、これまでの貨物取扱量の約2倍の貨物処理が可能になるとされています。さらに拡大工事も予定されており、貨物処理能力の飛躍的な向上と、輸送リードタイムの大幅短縮が期待されています。ハイフォン市のインフラ整備状況を受け、近年、世界有数の企業が「世界の工場」としてハイフォン市への進出を進めており、今後もこの流れは続いていくと予想されています。また、工業団地で働く従業員の福利厚生の上昇を目的とした、住宅や商業施設、病院などを開発する社会的なニーズが高まっています。VSIPハイフォンでは、そのようなニーズにも対応できる都市開発計画が進められています。1996年からという長い歴史を持ち、これまでの多くの企業を受け入れてきた経験から、VSIPは、初めて海外へ進出する企業にとっても安心できる工業団地だと思われま



<VSIPハイフォン工業団地>

VSIP Hai Phong Co.Ltd

住所: VSIP Hai Phong Administrative Office, Thuy Nguyen Dist., Hai Phong City

電話: (+84)31 3959 868 FAX: (+84)31 3959 886

Email: vsip.japan@vsip.com.vn

URL: http://www.vsip.com.vn/



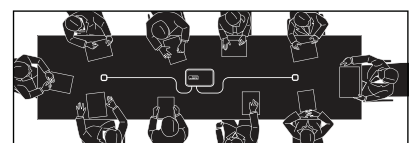
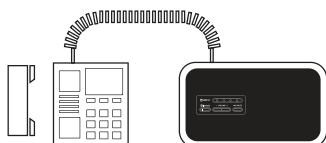
ついにベトナム上陸!
日本で大好評の会議用マイクスピーカー

「いつもの電話で会議する」という発想。
その会議システムを導入するその前に

電話につなぐタイプの新しい会議ツール「R-Talk」が1台あれば、日本とのミーティング、離れた工場との急な打合せもその場ですぐに始められるから、海外拠点の頼もしい味方です。



- 1 いつもの電話やスマホで
いますぐカンタン遠隔会議
- 2 特別な回線や難しい設定いらず
どこでもその場が会議室に
- 3 大勢の声も聞き取りやすく快適で
長時間でもストレス知らず



「どうやって使うの?」まずはお試しを!
▶ E-mail: n_umeda@magx.co.jp

R-Talk
お問合せ先

MAI INTERNATIONAL ASSOCIATES JSC.
担当: 梅田・Phuc TEL: +84-8-3822-6055 (HCMC)

【製造元】 日本製 / Made in Japan
NTTアドバンステクノロジー株式会社